

令和3年度 経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 北広島商工会 経営発達支援事業評価委員会
2. 開催日時 令和4年2月22日（火）午後4時
3. 開催場所 北広島商工会館 2階理事会室
4. 出席者
 - (1) 外部有識者 道都大学経営学部教授 鈴木 重政
税理士 吉田 高志
北広島市商工業振興課長 林 睦晃
商工業者代表 間野 和行
 - (2) 商工会 事務局長 藤木 幹久
経営指導員 竹内 伸泰
経営指導員 工藤 功治
5. 内容
定刻となり、事務局が開会を宣し、鈴木委員長が開会挨拶を行った後、議事に入る。

(1) 経営発達支援計画の遂行状況について

事務局より、本年度より始まった経営発達支援計画の概要について説明。その後、評価表に基づき遂行状況等について説明した。委員から自己評価が低いのではないかとの意見があり、目標と実績値が同じであればAなど、実績値で評価した方が良いとの意見があり、評価の見直しがされた。実施状況は以下のとおり。

①地域の経済動向調査に関すること

取組内容1：地域経済分析システムの活用

目標：年1回 実績：0回

検証結果：地域経済分析システム（RESAS）を活用して地域経済動向について分析し、3月に分析結果を商工業者へ提供する予定であることを説明した。

取組内容2：地域内経済動向調査の実施

目標：年4回 実績：0回

検証結果：当市は札幌市の経済圏下にあることから、札幌市が発表する「データで見る！さっぽろ経済の動き」を参考に地域経済の分析に努めたが、分析結果をレポートして公表するに至らなかった。

取組内容3：市内景気動向調査の実施

目標：年4回 実績：4回

検証結果：四半期ごとにアンケート調査を実施し、都度100件以上の回答があり分析結果は事業者に提供した。自由意見も多

く、より正確に市内経済の状況を把握することができた。

②需要動向調査に関すること

取組内容 1：新商品等評価に関するアンケート調査

目標：10社 実績：0社

検証結果：当初ふるさと祭りでの実施を予定していたがイベントが中止となったため未実施。その他、遊水池完成イベントへ赤毛米関連商品を提供。コロナ禍により持ち帰りとなり商品に対する評価は行っていない。また石狩管内商品開発・販路拡大勉強会で赤毛米の取り組みについて事例発表した。

取組内容 2：観光需要調査

目標：30社 実績：51社

検証結果：対面およびインターネットによる観光客のニーズ調査を実施した。調査結果は飲食業に限った内容でないため多くの事業者配布した。日ハムのBP開業に向けた観光客の受入体制強化が必要であるとの結果になった。

③経営状況の分析に関すること

取組内容 1：商工会職員による経営分析・財務分析

目標：30件 実績：21件

検証結果：持続化補助金等の計画策定に際し、経営分析や財務分析を行い、補助事業の実効性を担保した。補助金申請に関する分析が多く、その他の分析ができなかった。

取組内容 2：専門家活用による経営分析・財務分析

目標：3件 実績：3件

検証結果：高度な知識を要する案件について専門家による分析等を行った。その後、事業計画策定も行い、事業継続に繋げることができた。

④事業計画策定支援に関すること

取組内容 1：事業計画策定支援の実施

目標：20件 実績19件

検証結果：単に事業計画策定を希望した事業者はなく、補助金申請のための事業計画策定となった。持続化補助金14件、事業再構築補助金3件、経営力向上計画1件、生産性向上計画1件の申請に繋がった。

取組内容 2：創業計画書作成支援の実施

目標：5件 実績：9件

検証結果：窓口相談等により創業計画書作成等の支援をした。うち1件は特定創業支援事業者の申請にも繋がった。4件の支援

者が開業に至った。

⑤事業計画策定後の実施支援に関すること

取組内容1：巡回訪問による事業計画策定後のフォローアップの実施

目標：80回 実績：41回

検証結果：経営指導員等による事業計画策定支援後の進捗状況確認、金融、経理、税務等のフォローアップを行った。事業計画の遂行状況を把握し、経営改善に繋がった。コロナの影響により巡回訪問の機会が減少し目標達成に至らなかった。

取組内容2：創業者へのフォローアップの実施

目標：30回 実績32回

検証結果：創業者および創業予定者に融資や経理、税務等のフォローアップをした。創業後の課題や悩みに対応し事業継続に繋がった。

取組内容3：金融支援等によるフォローアップの実施

※他の支援と重複

取組内容4：人材育成支援の実施

目標：2社 実績2社

検証結果：中小企業大学校の受講料半額補助をし、従業員の資質向上について支援した。

⑥新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

取組内容1：インターネットを活用した需要の開拓

目標：2件50万円 実績：5件

検証結果：持続化補助金申請の中でホームページの新規作成や改修の取り組みを支援した。今後支援者のネット販売額の増加が見込まれる。

取組内容2：展示会・物産展等への積極的参加による需要の開拓

目標：1件成約1件 実績：1件成約0件

検証結果：商品力強化学業で既存商品の見直しを支援し、展示会への出店が1件あった。現在のところ商談成立には至ってないが、今後も継続して支援していく。

取組内容3：赤毛米を活用した新商品開発による需要の開拓

目標：2件30万円 実績：1件13万円

検証結果：酒粕を利用した新商品（菓子）の開発について1件支援。当会においては赤毛米を使用した新たな酒（貴醸酒・焼酎）の開発に取り組んでいる。

⑦事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

取組内容1：事業評価委員会の開催

目標：1回 実績：1回

検証結果：外部委員等に評価してもらうことで事業の透明性が確保された。

⑧経営指導員等の資質向上等に関すること

取組内容 1：研修等への派遣

目標：随時 実績：随時

検証結果：新型コロナの影響で予定されていた研修が中止になったりオンラインでの実施となった。経営発達支援を全職員で実施するまでには至っていないが、着実に職員の資質が向上した。

取組内容 2：職場内研修等の実施

目標：随時 実績：随時

検証結果：事業者支援に係る一般的な知識はもとより、コロナ対策支援策の実務など随時職員間で情報の提供を行った。職員の資質向上に効果があり、コロナ支援策の普及および申請等で効果を上げた。

取組内容 3：自己啓発による資質向上への支援

目標：随時 実績：随時

検証結果：各種資格を取得する場合の受講料の補助をしている。資格取得はなかったが、職員同士が知識の習得を補完しあい資質向上が図られた。

⑨他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

取組内容 1：日本政策金融公庫・地元金融機関との情報交換に関する事項

目標：随時 実績：随時

検証結果：新型コロナの影響により対面での情報交換は少なかったが、経済状況や金融状況、個別案件に係る情報交換などを行い、金融支援の円滑化が図られた。

取組内容 2：専門家との情報交換に関する事項

目標：随時 実績：随時

検証結果：事業計画策定支援等で経営指導員が同行し、専門家との情報交換をした。

その他、観光需要アンケート調査の結果について、BPへの交通手段では自家用車が多いため、多少遠くでも来店してもらえる可能性が高いこと、家族で行くと回答した方が半数以上であったことなど説明。事業の見直しはなく、午後5時に評価会議を閉会した。